Biz Box ルータ 「RTX830」 ファームウェアバージョンアップ手順書

1 外部メモリーを使用してファームウェアを更新する

市販の外部メモリー(USB メモリー/microSD カード)に保存したファームウェアを本ルーターに読み込ませて ファームウェアの更新を行います。

■注意

本ルーターの USB ランプまたは microSD ランプが点灯/ 点滅している間は、外部メモリーを取り外さないで ください。外部メモリー内のデータを破損することがあります。USB ボタンまたは microSD ボタンを2 秒以上 押し続けるとブザーが鳴り、USB ランプまたは microSD ランプが消灯し、外部メモリーを取り外すことができる ようになります。

■重要

·USB 延長ケーブルを介して接続した場合は、正常に動作しないことがあります。USB メモリーは本ルーターの USB ポートに直接挿入してご使用ください。

·FAT またはFAT32 形式でフォーマットされていない外部メモリーは、本ルーターで使用できません。

·USB ハブを介して、複数のUSB メモリーなどの外部メモリーを本ルーターに接続することはできません。

- 1. ファームウェアを保存した外部メモリーを用意する。
- 外部メモリーを本ルーターの USB ポートまたは microSD スロットに差し込む。
 外部メモリーを認識するとブザーが鳴り、本ルーターの USB ランプまたは microSD ランプが点灯します。
- 3. 「管理」タブ -「保守」-「ファームウェアの更新」を順に選択する。
 - 「ファームウェアの更新」画面が表示されます。
- 4. 「外部メモリからファームウェアを更新」項目の「進む」ボタンをクリックする。

() YAMAHA	RTX830	? 🏝 ユーザー名なし 🔻
■ ダッシュボード	王_ LANマップ 🍂 かんたん設定 🏾 秦 詳細設定 🔍 管 理	CONFIG SYSLOG TECHINFO
44		
本体の設定	■ ファームウェアの更新	
アクセス管理	▼	
外部デバイス連携	◆表面のファームウェアの更加で11 フレビルできます。	
保守	■ 現在のファームウェアリビジョン	
コマンドの実行	Rev. 15.02.01	
ファームウェアの	受受新	
CONFIGファイル	の管理 外部メモリからファームウェアを更新	
SYSLOGの管理	外部メモリから更新するファームウェアファイルを選択します	進む
再起動と初期化		
	ネットワーク経由でファームウェアを更新	
	ネットワーク経由でファームウェアファイルを確認後に更新します	進む
	ダウンロード先の URL	
	ヤマハの Web サイト	
	リビジョンダウンの許可 タイムアウト	設定
	許可しない 30秒	
	Copyright © 2014 - 2017 Yamaha Corporation, All Rights Reserved.	

「外部メモリからファームウェアを更新」画面が表示されます。

5. 外部メモリーから読み込みたいファームウェアを指定する。

®YAMAHA rtx	830		? 🎽 ユーザー名なし 🔻
■ ダッシュボード 王 LAN	マップ 🏾 🎤 かんたん設定 🏾 🌞	詳細設定 🌂 管 理	CONFIG SYSLOG TECHINFO
** 7	アームウェアの更新 > 外部メモリからこ	マームウェアを更新	
本体の設定		E 46	
アクセス管理 🔹		これ、シャンションを再新	
外部デバイス連携 ▼	ディー・ステング・シング	ームウエアを更利	
保守 🔻	各項目を入力してください。入	力が完了したら、「確認」ボタンを押してください。	
コマンドの実行	■ 設定に必要な情報入力		
ファームウェアの更新	使用中のファームウェアファイル	内蔵不揮発性メモリ internal	
CONFIGファイルの管理	更新ファイルの指定	SDメモリ V Itx830.bin 参照	
SYSLOGの管理 更記動と初期化	更新先ノアームリエアの指定	内版小連発性メモリ internal	•
THERE IN THE			
			戻る確認
	Copyright	© 2014 - 2017 Yamaha Corporation. All Rights Reserved.	

① 更新ファイルの指定:

差し込んだ外部メモリーを選択し、「参照」ボタンをクリックします。「ファイルの一覧」画面で保存 したファームウェアを選択します。

6. 「確認」ボタンをクリックする。

「入力内容の確認」画面が表示されます。

7. 内容を確認し、「実行」ボタンをクリックする。

®YAMAHA <i>RTX830</i>	? 🎍 ユーザー名なし 🔻
ぼ ダッシュボード 王 LANマップ え かんたん設定 豪 詳細設定 、 管 理	CONFIG SYSLOG TECHINFO
≪≪ ファームウェアの更新 > 外部メモリからファームウェアを更新 > 入力内容の確認	
アクセス管理 スカカ容の確認	
外部デバイス連携 ▼ の変をご確認のトートスレ(けりげ「軍行」を押してください)	
コマンドの実行 「実行」ボタンを押すと、ファームウェア更新後に自動的に再起動します。	
ファームウェアの更新 CONFIGファイルの管理 外部メモリからファームウェアを更新	
SYSLOGの管理 使用中のファームウェアファイル 内蔵不揮発性メモリ internal	
更新ファイルの指定 SDメモリ rtx830.bin	
更新先ファームウェアの指定 内蔵不揮発性メモリ internal	
	反る

「ファームウェアの更新」ダイアログが表示され、ファームウェアの更新が開始されます。ファームウェアの 更新が完了すると、本ルーターは自動的に再起動します。

メモ

使用中のファームウェアと更新先ファームウェアの指定が異なる場合は、再起動は行われず、使用中の ファームウェアも変化しません。手順8以降は、使用中のファームウェアと更新先ファームウェアの指定が 同じ場合に行ってください。

8. 本ルーターの再起動中(LED が全点灯している間)に、外部メモリーを取り外す。

メモ

本ルーターの LED が全点灯している間に外部メモリーを取り外してください。その際に USB ボタン/microSD ボタンを押す必要はありません。

外部メモリーを取り外さなかった場合、外部メモリー内にファームウェアまたは CONFIG ファイルが存在すると、 その外部メモリー内のファイルを使用して起動します。

9. 本ルーターの再起動が完了後、「トップへ戻る」ボタンをクリックする。

ファームウェアの更新
ファームウェアの更新が完了しました。 本製品を再起動します。 LEDの点滅終了後、下のボタンを押してください。
トップへ戻る

ダッシュボードページが表示されます。

メモ

再起動中はWeb GUI を開いているパソコンが本ルーターと通信できない状態(パソコンのネットワークアダプタの状態表示で「ネットワークケーブルが接続されていない」と表示されます)になりますが、再起動が完了する と通信状態が復旧します。本ルーターのLED の点滅終了後に、Web GUI を開いているパソコンの通信状態が復旧 していることを確認してから「トップへ戻る」をクリックしてください。

2 社内サーバー等からネットワーク経由でファームウェアを更新する

社内サーバー上に置かれたファームウェアファイルをダウンロードしてファームウェアの更新を行います。 ※別途社内サーバーを準備する必要があります。

- 「管理」タブー「保守」-「ファームウェアの更新」を順に選択する。「ファームウェアの更新」画面が 表示されます。
- 2. 「ネットワーク経由でファームウェアを更新」項目の「設定」ボタンをクリックする。

® YAMAHA	RTX830		? 🎍 ユーザー名なし 🔻
(三) ダッシュボード)	王_ LANマップ 🍂 かんたん設定 🏾 秦 詳細設定 🍡 管 理		CONFIG SYSLOG TECHINFO
44			
本体の設定	■ ファームウェアの更新		
アクセス管理	▼ オ制日のファートウェアの東部を行うことができます		
外部デバイス連携	本表面のファームウェアの更和を11 フェビルできます。		
保守	現在のファームウェアリビジョン		
コマンドの実行	Rev. 15.02.01		
ファームウェアの	更新		
CONFIGファイル			
SYSLOGの管理	外部メモリから更新9るファームウェアファイルを進択しま9		18.0
19102012-10140112	- クットローク探由スフォールウェアを再新		
	ネットワーク経由でファームウェアを定知し		米 お
			Carl
	タワンロード先の URL		
	シーションダンノの計画	2010	
	and Olar,	3049	
	Copyright © 2014 - 2017 Yamaha Corporatio	n. All Rights Reserved.	

- 「ファームウェア更新の基本設定」画面が表示されます。
- 3. ファームウェア更新の基本設定を行う。

® YAMAHA	RTX830		?	🛔 ユーザー名なし 🗸
1日 ダッシュホード	王 LANマップ え かんたん設定	\$ 17HB2 < \$ #		CONFIG SYSLOG TECHINFO
★体の設定 アクセス管理 外部デバイス連携 保守	ファームウェアの連新 > ファーム ファームウェア ファームウェア 名項目を入力してくださ *	ウェア東新の基本設定 アの更新 更新の基本設定 い。入力が完了したら、「確認」 ポタンを押してください。 カ		
コマンドの実行 ファームウェアの CONFIGファイ川 SYSLOGの管理 原始的と初期の	受け、 ダウンロード先の URL の管理	 ヤマルの Web サイト その他 http://www.example.net/yamaha/tx830.bin]	
	2	 時可しない 		
	3 91679F	30 10~180)	戻る	確認

① ダウンロード先の URL :

ファームウェアの置かれている URL を設定します。社内サーバーからダウンロードする場合は、「その他」を 選択し社内サーバーの URL を入力します。

② リビジョンダウンの許可:

古いバージョンのファームウェアへの書き換えを許可するか否かを設定します。

③ タイムアウト:

ネットワーク経由でファームウェアを更新する処理のタイムアウト時間を入力します。

- 4. 「確認」ボタンをクリックする。
- 「入力内容の確認」画面が表示されます。
- 5. 内容を確認し、「設定の確定」ボタンをクリックする。

K830	? 🎍 ユーザー名なし 🔹
Nマップ 🏂 かんたん10定 🏩 詳細10定 🥄 管 理	CONFIG SYSLOG TECHINFO
ファームウェアの更新 > ファームウェア更新の基本設定 > 入力内容の確認	
■ ファームウェアの雨新	
入力内容の確認	
入力の必定ご確認のトー変面がわけわけ「認定の確定」を押してください。	
ファームウェア更新の基本設定	
ダウンロード先のURL http://www.example.net/yamaha/tx830.bin リビジョンダウンの許可 許可しない タイムアウト 30 秒	戻る
	ANマップ たかたんむま ● 1488年 ● 14 ファームウェアの更新 ファームウェアの更新 入力内容の確認 入力内容の確認 スカウ浴をご確認の上、変更がなければ「設定の確定」を押してください。 ファームウェア更新の基本設定 ダウンロード先のURL http://www.example.net/yamaha/rtx830.bin リビジョンダウンの片可 許可しない タイムアウト 30 移

設定が反映され、「ファームウェアの更新」画面が表示されます。

6. 「ネットワーク経由でファームウェアを更新」項目の「進む」ボタンをクリックする。

WYAMAHA	RTX830	? 👗 ユーザー名なし 🔹
11 ダッシュボード	王- LANマップ え かんたん設立 恭 詳細設立 3、 留 理	CONFIG SYSLOG TECHINFO
44		
本体の設定		
アクセス管理		
外部デバイス連携	現在の設定内容を表示しています。	
保守	 設定を変更しました。 	
コマンドの実行		
ファームウェアの	漫雨 📢 💼 現在のファームウェアリビジョン	
CONFIGファイル	の管理 Rev.15.02.01	
SYSLOGの管理		
再起動と初期化	- 外部メモリからファームウェアを更新	
	外部メモリから更新するファームウェアファイルを選択します	50.0K
	■ ネットワーク経由でファームウェアを更新	
	ネットワーク経由でファームウェアファイルを確認後に更新します	30E
	ダウンロード先の URL	
	http://www.example.net/yamaha/rtx830.bin	
	リビジョンダウンの許可 タイムアウト	1972
	許可しない 30秒	

更新可能なファームウェアの確認が行われ、「ネットワーク経由でファームウェアを更新」画面が表示されます。

7. 内容を確認し、「実行」ボタンをクリックする。



「ファームウェアの更新」ダイアログが表示され、ファームウェアの更新が開始されます。ファームウェアの更新が 完了すると、本ルーターは自動的に再起動します。

8. 本ルーターの再起動が完了後、「トップへ戻る」ボタンをクリックする。

ファームウェアの更新
ファームウェアの更新が完了しました。 本製品を再起動します。 LEDの点滅終了後、下のボタンを押してください。
トップへ戻る

ダッシュボードページが表示されます。

メモ

再起動中はWeb GUI を開いているパソコンが本ルーターと通信できない状態(パソコンのネットワークアダプタの状態表示で「ネットワークケーブルが接続されていない」と表示されます)になりますが、再起動が完了する と通信状態が復旧します。本ルーターのLED の点滅終了後に、Web GUI を開いているパソコンの通信状態が復旧 していることを確認してから「トップへ戻る」をクリックしてください。

3 DOWNLOAD ボタンを用いたリビジョンアップ

本製品がネットワークに接続されている場合、DOWNLOAD ボタンを押すことで、Web サーバーにあるファームウェア へ自動的にリビジョンアップすることができます。(http リビジョンアップ)

※DOWNLOAD ボタンを用いたリビジョンアップを行う際は、ソフトウェアライセンス契約に同意する必要があり ます。ソフトウェアライセンス契約画面が表示されたら、ソフトウェアライセンス契約の内容をよく確認し、 「ソフトウェアライセンス契約に同意する」のチェックボックスにチェックを入れます。

この機能を有効にするには、operation http revision-up permit コマンドを使用します。ファームウェアをダウン ロードする Web サーバーを指定するには、http revision-up url コマンドを使用します。工場出荷時は、ヤマハの Web サーバーからファームウェアをダウンロードするように設定されています。

DOWNLOAD ボタンを 3 秒以上押すと、新しいリビジョンのファームウェアの有無をチェックします。新しいリビジョ ンのファームウェアがあった場合は、自動的にファームウェアをダウンロードし、リビジョンアップを実行します。 リビジョンアップが成功すると、本製品は再起動します。

■注意

本製品が再起動するまでの間は、絶対に本製品の電源を切らないでください。

メモ

http revision-down permit コマンドで、古いリビジョンのファームウェアへの書き換えを許可することもできます。

4 TFTP を用いたリビジョンアップ

TFTP を用いてリビジョンアップする場合は、本製品は TFTP サーバーとして動作し、パソコンは TFTP クライアント として動作します。Windows の場合はコマンドプロンプトから、Mac OS X の場合は「ターミナル」アプリケーショ ンから、 tftp コマンドが実行できます。

TFTP の実行形式はそれぞれの OS に依存します。以下の点に注意して実行してください。

·転送モードはバイナリにします。(binary やbin と表現される)

·本製品側のファイル名は「exec」です。

·送信元のファイル名は「rtx830.bin」です。



メモ

・Windows Vista 以降のWindows では、初期状態で TFTP が使用できないようになっています。TFTP を使用 するには、Windows の [コントロールパネル] から [Windows の機能の有効化または無効化] 画面を表示し、 TFTP クライアントを有効化します。

・ファームウェアをリビジョンアップしても、本製品の設定内容は変更されません。

TFTP を使用してリビジョンアップする

ここでは、Windows パソコンから TFTP を使用して本製品のファームウェアをリビジョンアップする方法を説明します。Windows パソコン以外を使用する場合は、Windows パソコン側の操作を適宜お使いの環境に置き換えてください。

- 1. 本製品 (TFTP サーバー) に、ファームウェアを転送するパソコン (TFTP クライアント) の IP アドレスを設定 します。
- 本製品のコンソールで、以下のように入力します。
- ここでは、パソコンの IP アドレスを「192.168.100.10」として設定します。

tftp host 192.168.100.10

2. プログラムの変更中の不安定な状態を避けるために、PP 側の通信を中止します。

- 本製品のコンソールで、以下のように入力します。

pp disable all

■重要

この例では、save コマンドを実行していないため、本製品を再起動した後でも、PP 側の通信を切断した状態(pp

disable all コマンドを実行した状態)にはなりません。

3. Windows のコマンドプロンプトを起動して、以下のように入力します。

C:¥>tftp -i 192.168.100.1 PUT rtx830.bin exec Transfer successful: xxxx bytes in x second, xxxx bytes/s C:¥

本製品に転送したファームウェアを不揮発性メモリに書き込んでいる間、microSD、USB、DOWNLOAD のランプが交互 に点灯します。不揮発性メモリへのファームウェアの書き込みが完了すると、自動的に本製品が再起動します。外部 メモリ内のファームウェアで動作している場合には、外部メモリ内のファームウェアが更新されます。

メモ

不揮発性メモリに書き込む時間が長いため、TFTP クライアントがタイムアウトする場合がありますが、正常に リビジョンアップできます。本製品では、tftp コマンドの引数として、exec の代わりに exec0 または exec1 を 指定できます。また tftp コマンドのオプションとして、no-reboot(本製品を再起動しない)、reboot(本製品 を再起動する)が指定できます。

■注意

本製品が再起動するまでの間は、絶対に本製品の電源を切らないでください。

メモ

本製品では、tftp コマンドのオプションとして、no-reboot(本製品を再起動しない)、reboot(本製品を再起 動する)が指定できます。

4. 本製品のコンソールで、show environment コマンドを使用して、ファームウェアが正しくリビジョンアップされたことを確認します。

以上